

【2/12(金)】アスリートから学ぶ人間力

講師名	村田 瓦先生
経歴	<p>1968年福岡県生まれ。 元ラグビー日本代表。 現在、専修大学ラグビー部監督。 現役時代は、専修大～東芝府中～アビロン・バイヨンヌ（仏）～ヤマハ発動機ジュビロで、スクラムハーフとして活躍。元 7人制ラグビー日本代表監督。</p>
講座内容	<p>「道を切り拓く」～個の強みがチームとしての成果に～ 学生時代からラグビー日本代表、監督に伸し上がるまでの道のりを通して、アスリートの人間力とグローバル人材に必要な人間力を学びます。</p>



参加者課題『講義レポート』より

※編集の都合上、一部表現を編集しているものがあります

◆村田先生の監督としてのチームへ教える時の試みがとても素敵でした。褒める時、怒る時、楽しむ時、素晴らしい考え方をもつ人だからこそチームをまとめられるのだと思いました。ラグビーに対する知識も深まり、見せていただいた映像ではもっと見たいと思う程でした。これを機にラグビーを知ってみようと思いました。（関西外国語大学・3年・女性）

◆私も長年スポーツやってきたので、元プロ選手の村田さんのフィジカル的な悩みには親近感を覚えた。講義の中で彼が成功してきた裏に、愛されキャラであるコミュニケーション力や物怖じしないメンタルとそれを裏付ける自信が垣間見えました。私の所属するサッカー部は外語大学故に留学などがあり、良いチーム作りが難しい状況にあります。そこで村田さんの言っていた対話や笑顔、整理整頓と規律、そして感謝といった原点をもう一度見直してチーム改革に取り組もうと思いました。（神田外語大学・1年・男性）

◆人間力を発揮するためには、自分の強みを活かすことや、挫折を自分の成長につなげることなどを教えて下さった。常に挑戦し続け、それでいて謙虚な気持ちを忘れず、周りに感謝すること、アスリートだけでなく、私たちにも同じことが言えると思う。夢に向けて努力することもちろん大事であるが、人間力を失わないようにしたい。（京都外国語大学・3年・女性）

◆元プロのアスリートとして村田先生のスポーツに対する取り組み、そしてそこから得た経験といったものは、中学、高校とスポーツを続けてきた私には一方で共感出来たのと同時に大きな感銘を受けました。特に先生の仰った挫折は自分の成長、負けるが勝ちという言葉はとても印象に残っています。これから英語学習、そしてその先の社会に出てからもこの言葉を胸に頑張っていきたいです。今回のセミナーの最後に村田先生のお話を聞いて本当に良かったと思います。（神戸市外国語大学・2年・男性）

◆アスリートである村田先生は今までのラグビー選手生涯には「自分の強みを活かせ、負けるが勝ち」というスローガンで支えられました。先生のフランス生活は確かに挫折がありましたが、それはまさに先生の成長にメリットになりました。すべての経験を己を知る機会として、どんどん強くなってきました。（長崎が外国語大学・3年・女性）

◆ラグビー選手の村田さんがあげていたポイントのうち私は「負けるが勝ち」、そして「挫折は自分の成長に」という言葉が気に入りました。負けで反省するからこそ人は成長します。ワールドカップでは、意識付けや動機付けのためにチームと個人で目標設定します。そして、チームを変革する3つの要素として、「規律」「笑顔」「感謝」があります。スポーツをする上で大切になってくる事は多くあります。この講義ではラグビーの話でしたが、村田さんが言ってた言葉はスポーツだけでなく、どんな時でも心がけておくべき言葉だと思いました。（名古屋外国語大学・3年・女性）